



《将来に向けた取組方針》

豊田通商グループ生物多様性ガイドライン

・取組みの基本的な考え方

私たちは生物多様性の重要性を認識し、グローバル且つ、長期的視野に立ち、生物多様性の保全に取組みます。

・事業創出による貢献

私たちは事業を創出する中で、リスク評価を行い、トレーサビリティを明確にすることで、生物多様性と事業活動との両立を目指します。

・社会との連携・協力

私たちは政府・国際機関・NPO・サプライヤー・顧客等、生物多様性に関する社会の幅広い層との連携・協力関係構築を目指します。

・情報開示

私たちは企業活動と両立する生物多様性に関する自主的取組みやモニタリングの結果を開示することにより広く社会と共有し、持続可能な社会の発展への寄与を目指します。

ラムサール条約登録地藤前干潟におけるクリーン大作戦に参加

〈具体的取組み事例〉

当社は、名古屋市港区藤前地区の地先に広がる干潟であり、ラムサール条約の登録地となっている藤前干潟の環境保全活動として、「藤前干潟クリーン大作戦」に2013年から参画しております。藤前干潟は多数の渡り鳥が飛来する重要な中継地で、名古屋本社からも近く、都市に残された生き物のオアシスを感じることが出来ます。この貴重な環境を守るべく、住民団体、行政、企業が協働して保全活動に取り組んでいます。



〈学んだこと〉

自然共生の重要性を再認識させられ、継続的な清掃活動や生活ごみの削減など環境保全を意識して行動することの大切さを学んでいます。

〈今後の課題等〉

会社全体への環境保全活動の広がり

〈社会に向けたメッセージ〉

豊田通商は『良き企業市民』として『人・社会・地球との共存共栄』を目指し、グローバルな社会貢献活動を通して、『豊かな社会づくり』に貢献してまいります。